

## チュニジアのレイラ・ベンサイドさん、平和教育ひろげる (2016年招待者)

2016年8月、女性平和基金の招待し、広島で行われた夾竹桃イニシアチブ、原水爆禁止世界大会に参加したレイラ・ベンサイドさん。「広島の教訓」を生徒たちに伝えることを目的とした教育プロジェクトを作成し、実践。モロッコのカサブランカで開かれた、平和教育の講師養成ワークショップで報告しました。



### ●チュニジアのチュニスに戻ったレイラさんは、教室で折り鶴プロジェクトを実施



レイラさんの教案は、生徒をサダコと千羽鶴に関連した美術活動に参加させる内容でもありました。レイラさんの生徒が作成した広島と軍縮をテーマとした作品です。レイラさんの生徒たちは、原爆が広島と長崎の人々に及ぼした影響と、紛争解決と平和教育の基本原則を学びました。

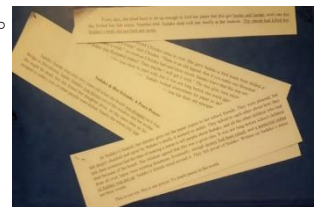


レイラさんが持っているのは新婦人がプレゼントした「ちひろの平和絵セット」



### 佐々木禎子さんと千羽鶴の物語に基づいた活動

- ・まず少人数のグループをつくり、これらの写真をつなげばどんな物語になるかを推測します。
- ・その後、短いストーリーの短冊を受け取り、これらを順序立てて再構成すると、「サダコと千羽鶴」の物語が出来上がります。
- ・この物語をもとに討論します。



### 波及効果は 13500 人以上に

広島の教訓と平和、紛争解決、軍縮教育を組み合わせたユニークな内容のこのワークショップには、カサブランカ地域全体から 54 人の教師が集まりました。ワークショップに参加したモロッコ人の教師は各自平均 250 人の生徒を教えています。50 人を超える教師が出席したカサブランカ ELT 平和実施ワークショップは、13,500 人を超える生徒に影響をあたえる可能性を持っています。

